



田代中学校区

小中一貫教育 ～教科「日本語」だより～

鳥栖市立田代小学校

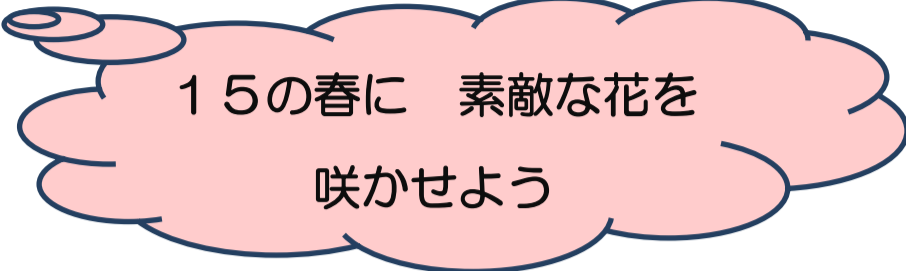
鳥栖市立若葉小学校

鳥栖市立弥生が丘小学校

鳥栖市立田代中学校

No. 2 令和2年 12月 22日発行

2学期は、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、コロナ禍の中でも工夫を凝らし、子供達の成長の場となる様々な教育活動を実施することができました。各学校の今学期の取組を紹介いたします。



【田代小学校】

教科「日本語」

10月22日(木)に今年度第1回目の授業参観を実施しました。田代小では、各学年で、「日本語」と「(ふれあい) 道徳」の授業を行いました。5年生の「落語を楽しもう」ではゲストティーチャーにもお越しいただき、実演を通して指導を受けることができました。



また、職員研修の一環として、教科「日本語」の授業研究にも取り組んでいます。1年生「日本の行事を知ろう」、2年生「世界でひとつだけのかるたを作ろう」の授業公開を通して、日本語や日本文化についての見識を深めたり、子ども達にとってのよりよい授業について学び合ったりしました。子ども達にも、活動を通して日本語や日本文化について新しく知ったり関心を深めたりする機会となりました。



生活科「あつまれ! あそびの広場に (ハッピーランド)」

密を避けるために3回に分けての開催としたり、換気や手指消毒を心掛けたりと、感染対策をとりながら実施しました。2年生の子ども達が、1年生を招待しようと、グループごとに知恵を出し合い、協力し合って素敵なハッピーランドを実現させました。遊び方の説明を上手にできるように練習も重ねてきました。当日は、1年生の楽しそうな笑顔、2年生の満足そうな笑顔がいっぱいでした。



【田代中学校】

規模縮小でも見応えのある体育大会(9月20日)



初めての午前中開催、参観者は3年生の保護者のみと、規模を縮小して体育大会を実施しました。今年を象徴するようなスローガンのもと、思った以上の素晴らしい体育大会になりました。

工夫の末の文化発表会(10月23日)



室内での活動ということもあって、体育大会以上に感染症対策のための工夫が必要でした。リモートでの鑑賞やシールド着用、展示物の分散など、これまでに経験したことのない文化発表会でした。コロナ対策で、1・2年生合唱コンクールの入賞クラスと、3年生全クラスのみが体育館で、その他のクラスは、教室でリモートでの観賞となりました。展示も、動画での紹介となりましたが、どの紹介も工夫を凝らしたもので、とても見応えがありました。

【弥生が丘小学校】

弥生フェスタ 11月6日(金)

今年度の弥生フェスタは、無観客で行いました。事前に学年ごとの出し物を録画し、その録画を見た後にリモートで各教室から感想を発表しました。全校でのリモートは初めてでしたが、みんなが一つのものを見て共有することができました。小中一貫教育でもリモートができそうです。



上: 1年生「くじらぐも」の発表
左下: 6年生「修学旅行」の発表 右下: リモート司会者



【若葉小学校】

○ タブレット端末の活用

6年生では、教科「日本語」をはじめ様々な教科でタブレット端末を活用した授業を行っています。教科「日本語」では、「行事のしきたりを知ろう」について、グループごとに行事について調べ活動を行い、それをスライドにまとめ、発表しました。調べてまとめる際は、スライドをクラウド上で共有し、同時に編集作業を行いました。グループ内で役割分担をし、どの子ども器用にタブレット端末を使いこなして、分かりやすいスライドを作り上げ、ICTのスキルを向上させました。また、体育では演技を撮影して自分の動きを確認したり、算数ではプログラミング学習の体験をしたり、さらに、社会科では先生が作った問題を一斉配信してミニテストを行ったりするなどして活用しています。



○ マナー教室

10月から11月にかけて、第1回目のマナー教室を行いました。学校目標の「3く大作戦」の中で、特に頑張っているものについて一人一人話をしました。校長室で校長先生に質問されて緊張した面持ちの子ども達でしたが、どの子どもはきはきと受け答えができました。

